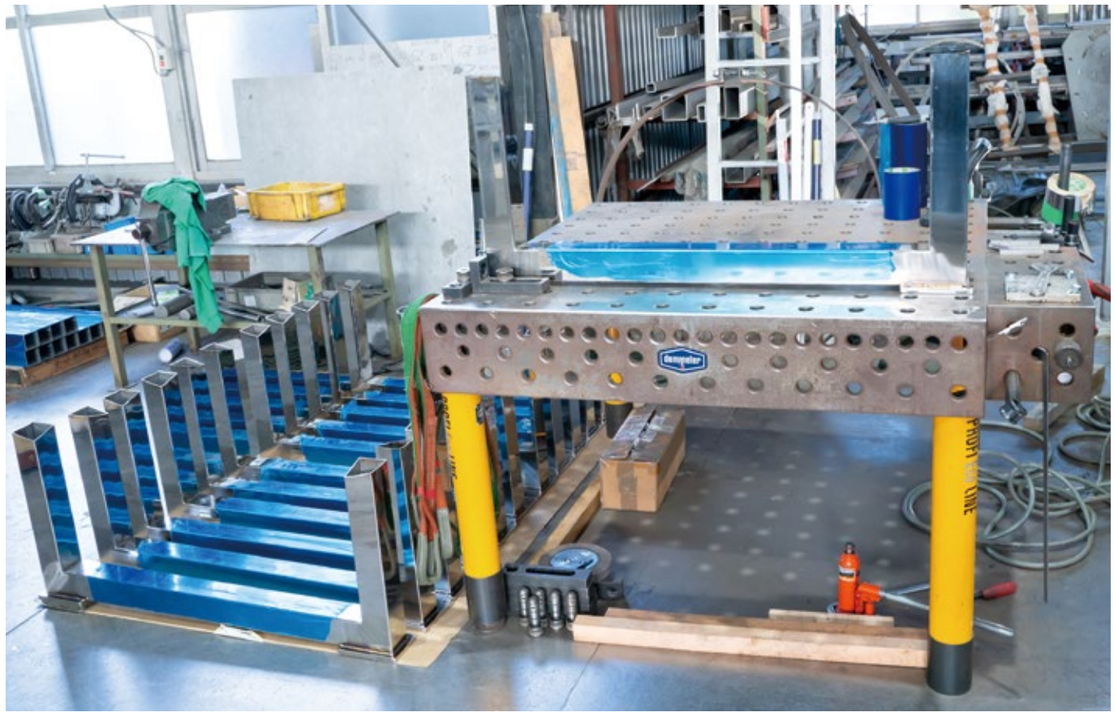
平成26年度

# 株式会社雑賀製作所



会社紹介

## 社内で生産を完結できる“ステンレス一貫主義”が強み 高水準な技術と設備で顧客が求める製品を生み出す

昭和52年の創業以来、金属加工に取り組み、中でもステンレスの加工に特化した事業を展開してきた。平成27年に法人化し、「株式会社雑賀製作所」として新たにスタートした。

主力製品はステンレス製のタンクや配管、架台などが挙げられ、形状やサイズなどさまざまなリクエストに対応するため、技術を磨き、設備も充実させている。また、材料手配から展開、切断、曲げ、機械加工、溶接、酸洗い、バフ研磨、組立、検査、出荷に至るまで、社内で一貫して生産できる体制を整えている。製薬、化学、造船、食品、水処理、機械装置、建築など多岐にわたる分野では、同社の製品が活用されている。

代表取締役 雑賀　孝之

補助事業

## 多品種少量生産のニーズに 応えるために新装置を導入

同社では近年、得意先件数の増加とユーザーニーズの多様化に伴い、製造する製品が多品種少量生産化の傾向にあった。複雑な立体形状の製品を製作するには組立・溶接用の治具が必要だが、多品種少量生産に合わせて治具を設計製作するには多大な時間と熟練した職人技術が必要とされる。

これらの課題を解消するために、同補助事業で「3D作業用クランピングテーブルシステム」(デメラー／PE2801056-001型)を導入。組立式で、汎用性が高く、製品ごとの専用治具を作る必要がなくなるため、生産性の向上、治具の原材料や廃棄処分費などのコスト削減が期待できる。また、作業員や条件による品質のばらつきを一定化させることも可能となる。

成　果

## 高品質な製品を低コストで供給でき 一部上場企業との取引にもつながった

同補助事業の成果として、「品質の向上」「生産性の向上」「コスト削減」「環境負荷の低減」の4つが挙げられる。「品質の向上」では、複雑な立体形状や角度の付いた製品でも、新設備を使用することで組立や溶接の精度が向上し、品質が格段にアップした。「生産性の向上」は、専用治具の製作時間を製品の加工時間に充てることができ、年間約120万円の生産性向上につながった。「コスト削減」は、専用治具の製作に掛かっていた原材料費(年間45万円)が削減できた。そして、「環境負荷の低減」に至っては、治具の廃棄処分が不要となるため、その費用(約10万円)も必要でなくなった。

高品質な製品を低コストで市場に供給することが可能になり、その結果、一部上場企業との取引につながった。これを機に、さらなる受注拡大に向け、新装置を十二分に活用していく予定だ。

今後の展開

## 新しい技術を武器に、環境や エネルギー産業の販路を拡大

「この新装置の導入で、造船産業からステンレスタンクや配管、架台の受注をもらいました」と話す、雑賀孝之代表取締役。「立体的で精密な製品作りが可能になったので、複雑な形のパイプが必要とされる環境・エネルギー産業に、弊社のものづくり力を貢献できれば」。特に水処理産業での需要は今後ますます広がると考えていて、実際に同業界のメーカーと新規取引も決まっている。

会社概要

| | |
|---|---|
| 会社名 | 株式会社雑賀製作所 |
| 代表者 | 代表取締役 雑賀　孝之 |
| 所在地 | 和歌山県日高郡日高町荊木648-1 |
| 資本金 | 500万円 |
| 従業員数 | 12名 |
| 業種 | ステンレス製品製造業 |
| 設立年月日 | 昭和62年 |
| TEL | 0738-63-2426 |
| FAX | 0738-63-2471 |
| E-MAIL | info@saika-ss.jp |
| URL | http://www.saika-ss.jp |